



全国介護老人保健施設大会 岐阜 報告書

2024年11月14日・15日野比苑の職員9名で上記の大会に参加してきました。



会場の岐阜までは、横須賀～新横浜～名古屋～岐阜の全行程で片道3時間程度です。

←名古屋と岐阜のちょうど中間、愛知県尾張一宮で宿泊しました。

全国から数千人の参加者が集まるため、交通・宿泊とも極めて混雑する中、事務科職員が予約手配に尽力してくれました。

わりと都会な尾張一宮駅↓



宿泊はアパホテル
駅から徒歩2分



岐阜駅 尾張一宮からはJRで



↑駅から会場まではシャトルバス

↓メイン会場の
長良川国際会議場





サブ会場の
都ホテル 岐阜長良川



サブ会場の
岐阜メモリアルセンター

一般演題の発表は 16 の会場に分かれて行われました。
野比苑の発表は、第 16 会場、第 11 会場、第 10 会場で行われました。



会場入り口



開会式等が行われたメイン会場



←国際会議場を含めた 16 の会場は一つの敷地内にあり、端から端まで歩くと 30 分はかかります。

↓会場敷地内にはさまざまなキッチンカーが出店していました。



↑→当日の会場内には、『岐阜』を推す様々な演出がされていました。



第 16 会場での発表。

ここが第 16 会場。
岐阜メモリアルセンターの『ふれ愛ドーム』。
普段は体育館としてスポーツイベント等に使用されます。

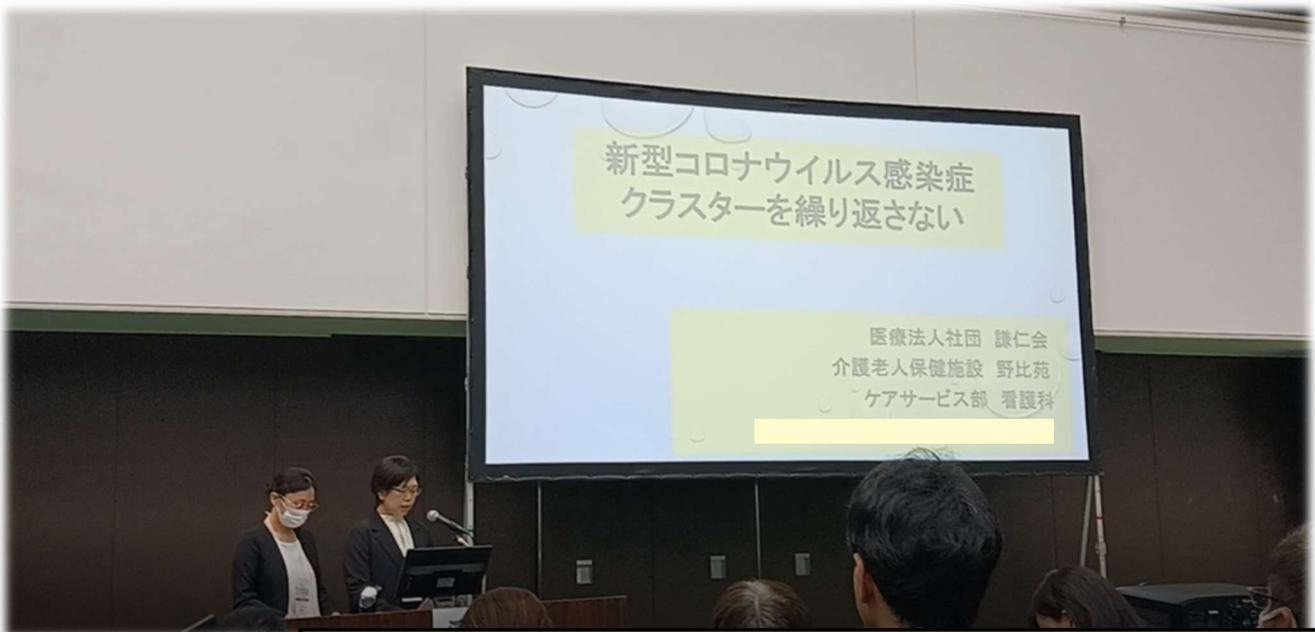




会場の客席は約 100 席。
最前列に次演者用の控え席があります。



座長から声がかかると緊張しながら演台
に向かいます。



発表後の質疑応答では、座長さんから質問が一つありました。

第 11 会場での発表。

ここの中に
第 11 会場



都ホテル岐阜長良川の
『漣』という部屋。
普段は結婚式場等として
使用されます。
発表当日の客席は
約 120 席。



発表後の質疑応答では、座長さんから質問が一つありました。

第 10 会場での発表。



同じく都ホテル岐阜長良川の『漣』と
いう部屋。
一般参加者に開放される前の時間
に見学させていただきました。
←演者から見るとこの光景です。

演台上はこんな感じです→
この会場の演台はかなり小さめで原稿
とか置けませんでした。



発表後の質疑応答では、会場参加者から質問が2つありました。

現状・連携/ニューノーマルでのBCP(感染・災害)・ACPを考える]

2 感染対策

司会 高橋 健
安達智紀
松葉秀典

溝上雅史先生(国立国際医療研究センター)

落合由起子(介護老人保健施設 野比苑)

阿部洋(さわだの庄介護老人保健施設)

セッション

←大会中に、共催セミナーのパネルディスカッション（感染対策をもとに医療と介護、施設と地域行政の連携について、公開形式で話し合う）が行われました。



パネリスト

国立国際医療研究センター：溝上雅史先生

岐阜県赤十字センター所長：高橋健先生

静岡県の老健さわだの庄：落合由起子看護師長

鈴木恵理華 PT

以上、第35回全国老健大会 IN 岐阜に参加した野比苑メンバーからご報告させていただきました。全国の老健が行う取り組みを見聞することで、たくさんの新たな知識を得ることができ、非常に大きな勉強の場となりました。準備に協力してくれた方々、参加メンバーが留守の間に勤務してくれていた方々、本当にありがとうございました。

来年2025年の全国老健大会は山口県が会場です！



第36回

全国介護老人保健施設大会 山口



会期：2025年11月27日(木)・28日(金)

会場：下関市民会館 他

